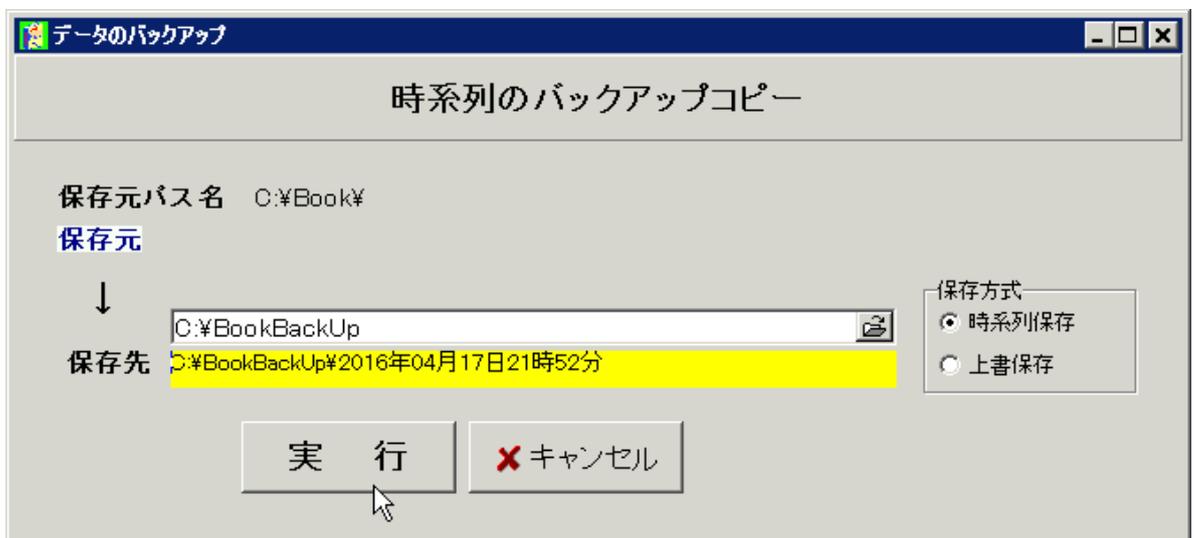


トラブル対策について

1. データのバックアップコピー

- ✦ データ入力 ⇒ バックアップコピー のボタンを押してください。
- ✦ このまま実行すると、Cドライブの中に” BookBackUp” というフォルダの中に“年月日時間分”のフォルダが作成されて、この中にデータフォルダがバックアップコピーされます。
- ✦ 時系列でバックアップを取ってください。
- ✦ バックアップコピーを取りながら運用しないと、万一の場合データの復元が出来ません。出来るだけ頻繁にバックアップコピーを取りながら運用してください。

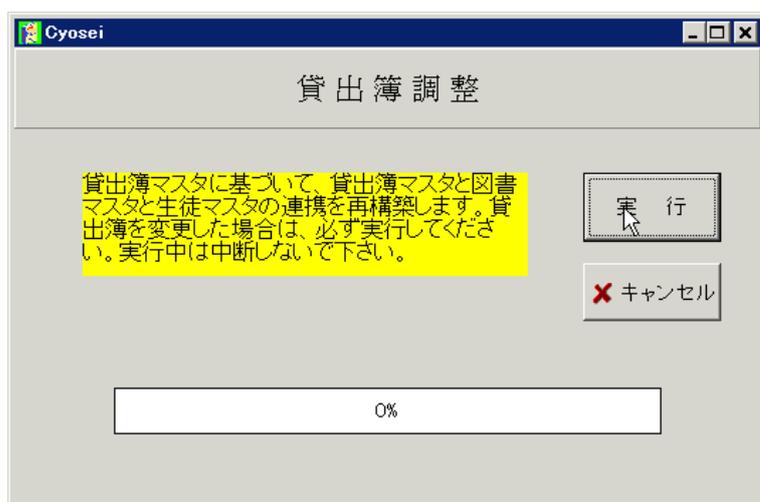


(補足)

- ✦ 上記のデータのバックアップは、通常の運用途中でのバックアップコピーを想定しています。
- ✦ 年度替わりなど、新年度に移行する前には必ず前年度の記録としてのバックアップコピーを取ってください。
- ✦ Window 操作でデータを保存する場合は、“NBook”と云うフォルダをコピー&貼り付けをして、“Book2017”のようにホルダ名を変えて保管してください。

2. 貸出簿再編成

- ✦ 各種のデータテーブルを連携させながらこのソフトは動作していますが、その中でも生徒テーブル、図書テーブル、貸出簿テーブルの連携は非常に重要です。
- ✦ 図書の貸出・返却の業務に置いて、何かの原因で不調になった時に、この処理を実行すると、**貸出簿テーブルを元にデータテーブル間の再調整**を行いますので、これを試してみてください。
- ✦ **補助作業 ⇒ 貸出簿再調整** に進みます。次のような画面が出ますので、実行してください。



3. 貸出簿マスターの編集

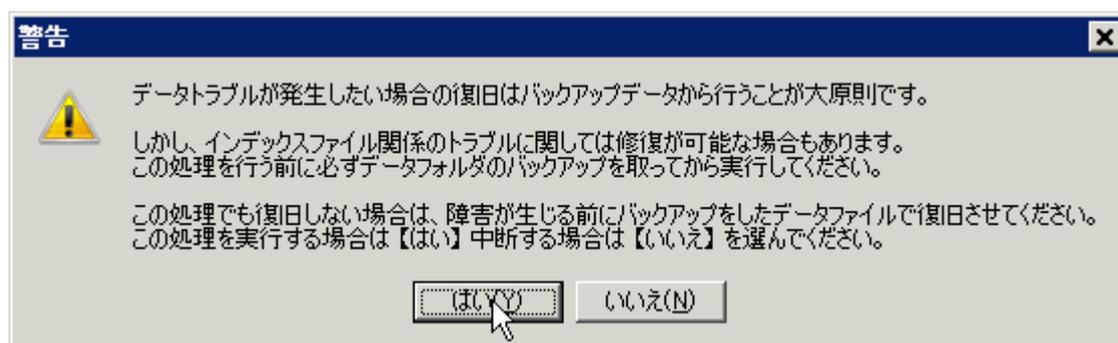
- ✦ 正常に運用されているときは「貸出簿マスターの編集」は不要ですが、貸出返却の業務でトラブルが生じた場合はこのマスターファイルの編集を開いて、手作業で貸出簿の修正が出来ます。
- ✦ 貸出中の図書は貸出フラグが「1」になっています。このフラグを「空白」にすると、返却されたこととなります。（返却日も修正すること）
- ✦ 間違っって不要な貸出記録がある場合は、その場所にカーソルポインタを移動させて、“-”記号のボタンを押すと、削除することが出来ます。
- ✦ この貸出簿を変更した場合は、この画面を閉じるときに自動的に「貸出簿再調整」が実行されます。

4. データテーブルの修復

データが不調になった時に次の処理を実行すると、修復できることがあります。この処理はデータテーブルの“インデックス”を作り直す作業をします。

補助作業 ⇒ データテーブルの修復 に進みます。

このような画面が出ますので、実行してください。



5. 図書の貸出が正常に出来ない場合

“学校図書館” または “図書館” または “こどもの図書館” のフォルダの中にある次のファイルを削除してください。

名前 ▲	更新日時	種類	サイズ
SampleData	2016/04/13 20:41	ファイル フォルダー	
\$\$2013	2016/04/17 21:38	ファイル	1 KB
Head.DAT	2016/04/17 21:58	DAT ファイル	25 KB
HeadIDX	2016/04/14 9:09	IDX ファイル	12 KB
Regist.DAT	2016/04/17 21:46	DAT ファイル	43 KB
RegistIDX	2016/04/17 21:37	IDX ファイル	16 KB
TYO4.exe	2016/04/17 20:54	アプリケーション	4,162 KB
wk.DAT	2016/04/16 22:11	DAT ファイル	4 KB
wk.IDX	2016/04/16 22:11	IDX ファイル	8 KB
WK01.DAT	2016/04/16 16:12	DAT ファイル	2 KB
WK01.IDX	2016/04/16 16:12	IDX ファイル	8 KB
WTBL.DAT	2016/04/17 21:23	DAT ファイル	11 KB
WTBL.IDX	2016/04/17 21:23	IDX ファイル	8 KB

以上の操作でも期待通りにならない場合は、バックアップコピーからのデータ復元が必要になります。

このデータ復元は、次の手順で行ってください。

- ✚ Cドライブの“Book”フォルダをリネームします。例 BookX
- ✚ 時系列でバックアップしたフォルダを開きこの中にある“Book”のフォルダをコピーして、Cドライブに張り付けます。